

# 施 工 要 領 書

(人口芝生デビロン#221の置き敷き施工)

## 【使用上の注意】

※人口芝生デビロン#221を、置き敷きにて施工する場合、樹脂の持つ特性で温度変化による収縮が生じます。

気温が低い時期（時間帯）に施工する場合には隙間を開け、気温が高い時期（時間帯）の施工は隙間なく施行して下さい。

製品規格に関しましては常温（約20度前後）での規格寸法になります。気温変化による伸縮の影響は微量ですが、特に30度を超える気温につきましては伸びが生じます。

※庭等、土の上にデビロン敷設の場合でコ型ピンを使用する際は打込みの時に地中埋設物（給排水引込管等）の位置を確認して管等を破損しないように注意してください。

- ・ 施工手順
- ・ 製品規格図面
- ・ 施工手順写真
- ・ 施工事例写真

人口芝生 **デビロン**

阪和工業株式会社

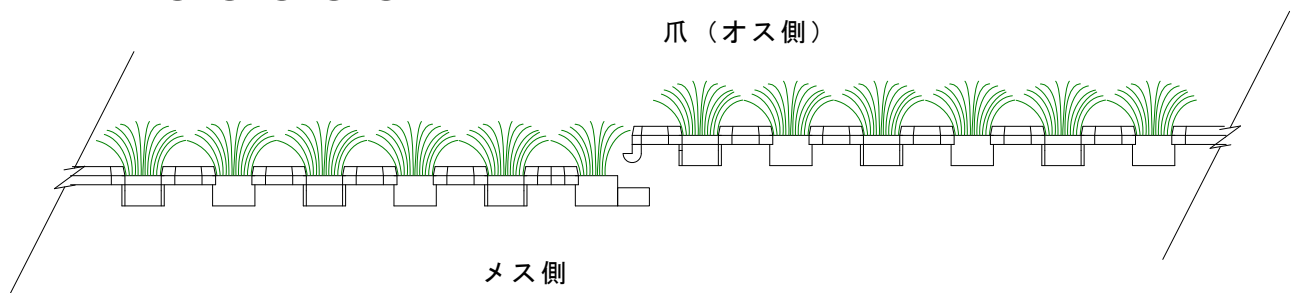
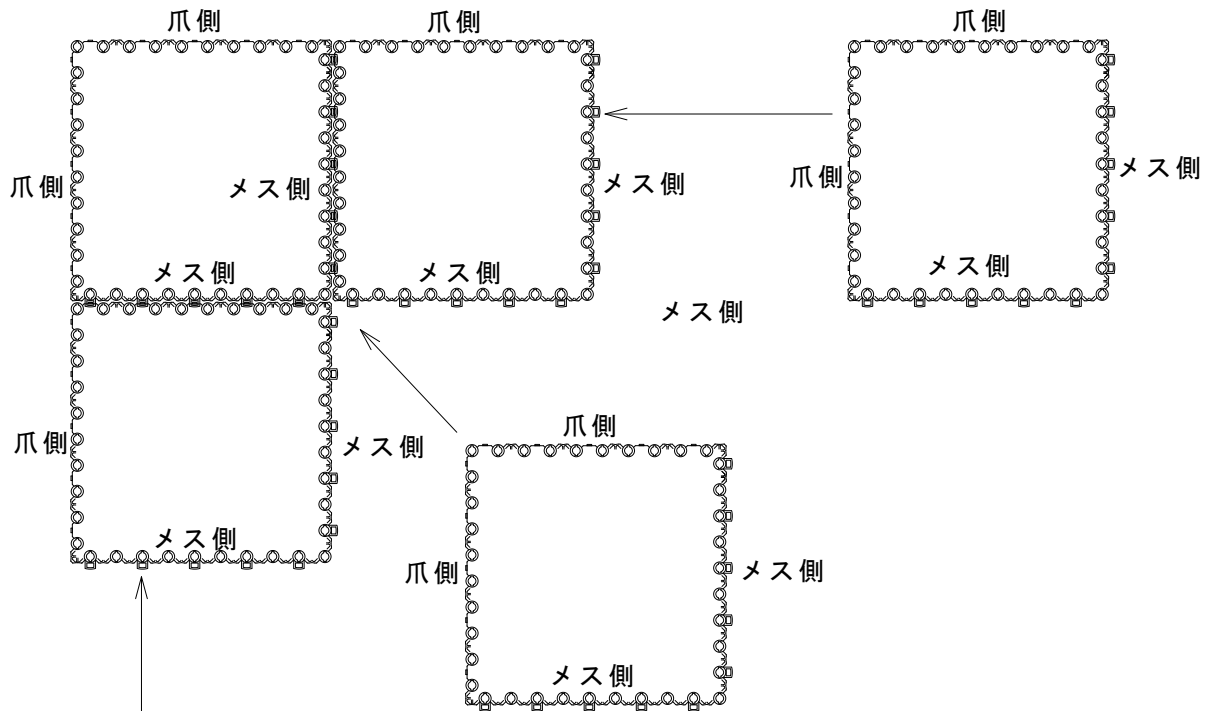
阪神事務所

〒663-8121 兵庫県西宮市戸崎町4番20号

TEL : 0798-62-1555 FAX : 0798-62-4556

## デビロンテラストーフ #221の施工手順

#221の連結はメス側を下に置き、その上に爪（オス側）を乗せ嵌め込みます。敷始めは爪側を端として順次横方向や後ろ方向へ進めると施工し易いです。



■カットする場合は、カッターナイフや万能バサミなどでカットできます。

### 《施工上の注意》

樹脂製品ですので温度変化による伸縮が生じます。気温の低い時期に施工する場合には隙間を開け、気温の高い時期は隙間なく施工してください。

## ピンで固定する場合

コ型ピン規格寸法

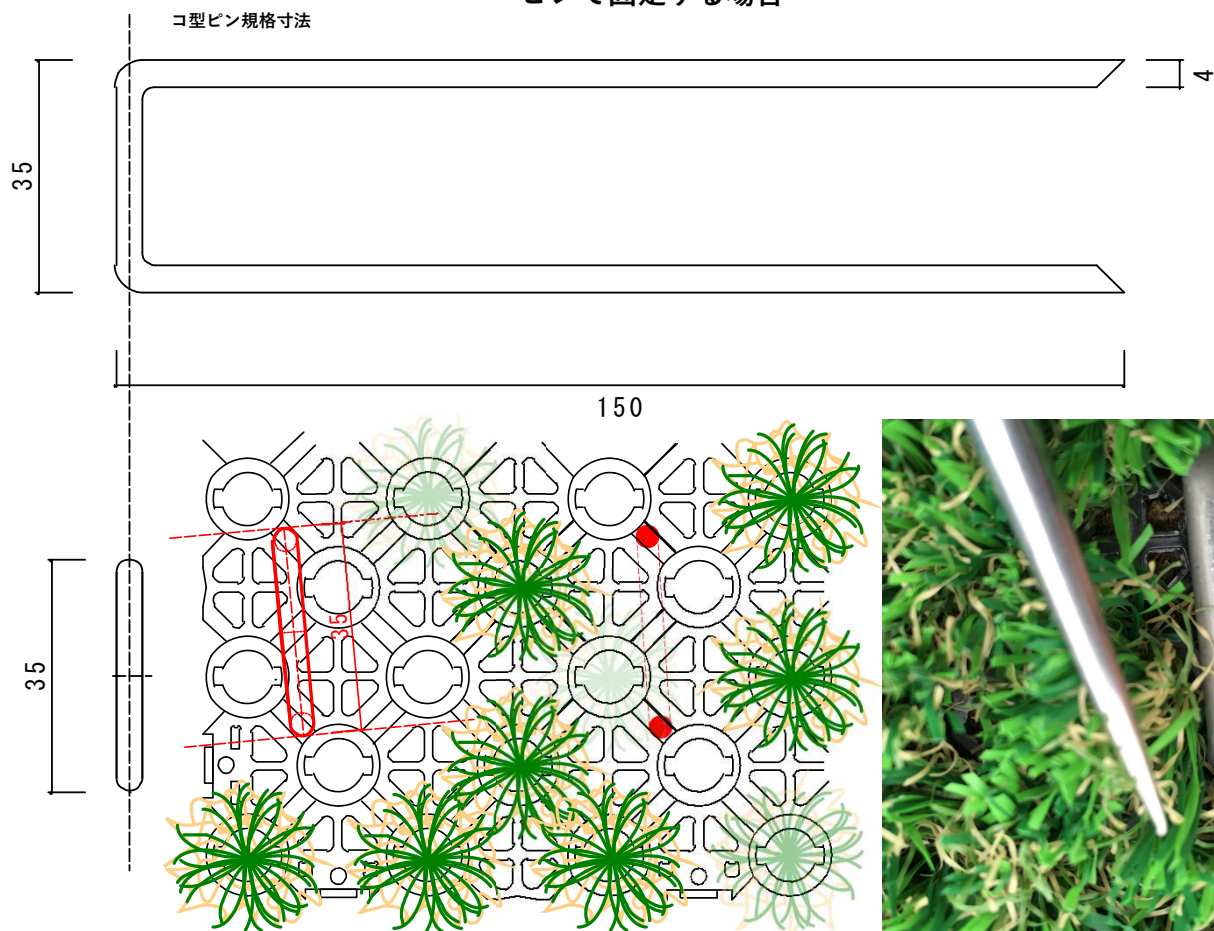


図1



図2



図3

※土の地盤にピンで固定したい場合にはコ型ピンを使用します。

芝葉をかき分けて長方形の溝にコ型ピンを打ち込みます。

(図1の赤丸の箇所)

溝はどの箇所でも大丈夫ですが、基盤面を跨がないように注意してください。

基盤上面の穴にはピンを打たないでください。

コ型ピンを基盤上面を跨がないように溝に打ち込みますと基盤上面よりピンが上に出ず、芝葉に隠れます。

(図3参照)



#221 連結前



#221 連結後

目地も目立ちません



## グレーチング目隠し

結束バンド等を用いて固定する。



次に接続するテラスターフのオス側、メス側を準備する



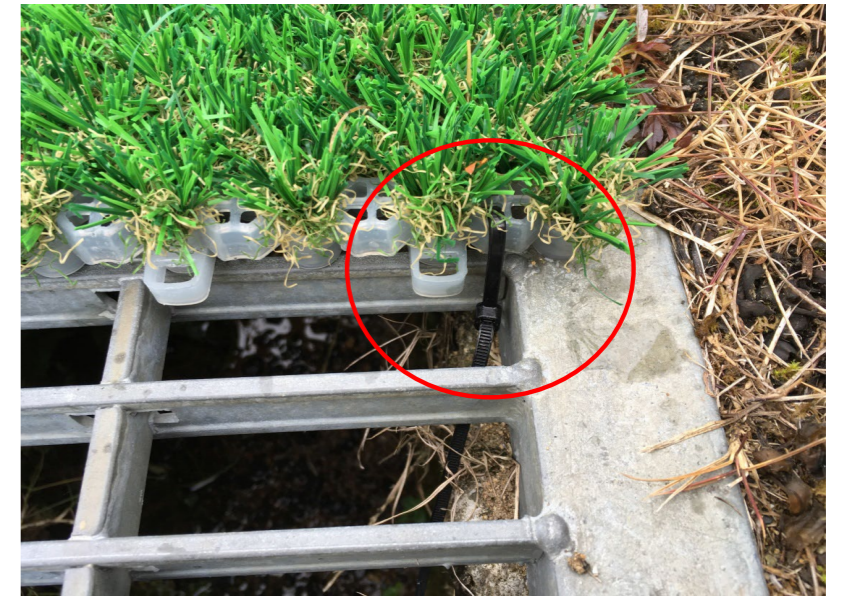
結束バンドを締める前にオス、メスのジョイント部を接続する。



オス、メスを接続する前に結束バンドをベースの穴に通す。



オス、メスのジョイント部を接続してバンドを締める。



次に接続するベースの穴に通す。



余分なバンドをハサミ等でカットする。



※撮影用に白色のベースを使用しています。

# 水辺の広場 出入口 #221

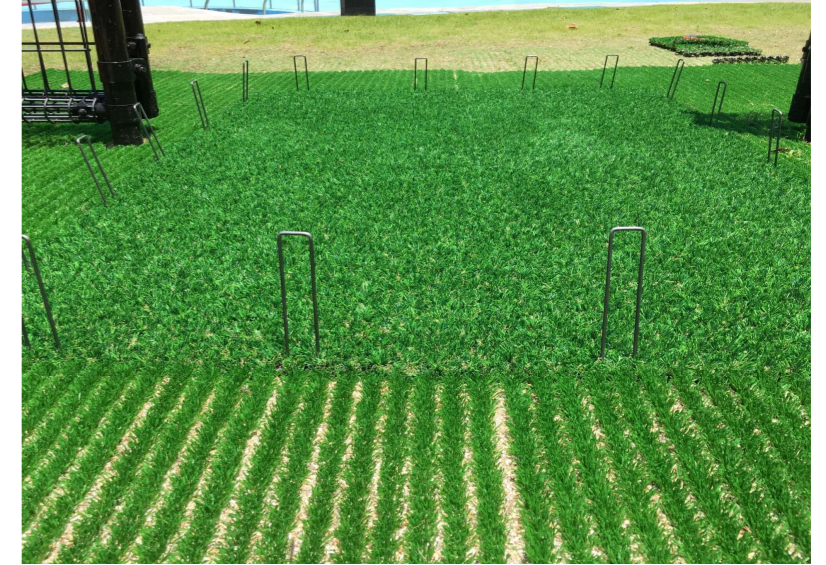
真砂土地盤を不陸調整して締め固めます



ジョイント部分をはめ込みます



ピンを外周部分に打ち込みます



ピンの頭はこの状態からもう少し押し込みます(金槌使用)



ピンは見えなくなります



完了



※水辺の広場出入口 裸足で出入りするため柔らかい感触の#221を置き敷き施工(目砂は入れません)

## デビロン・テラスターフ #221

### 《主な使用場所》

- 一般家庭（テラス・ベランダ）
- ビル屋上（景観、屋上緑化）
- プールサイド

### 《規 格》

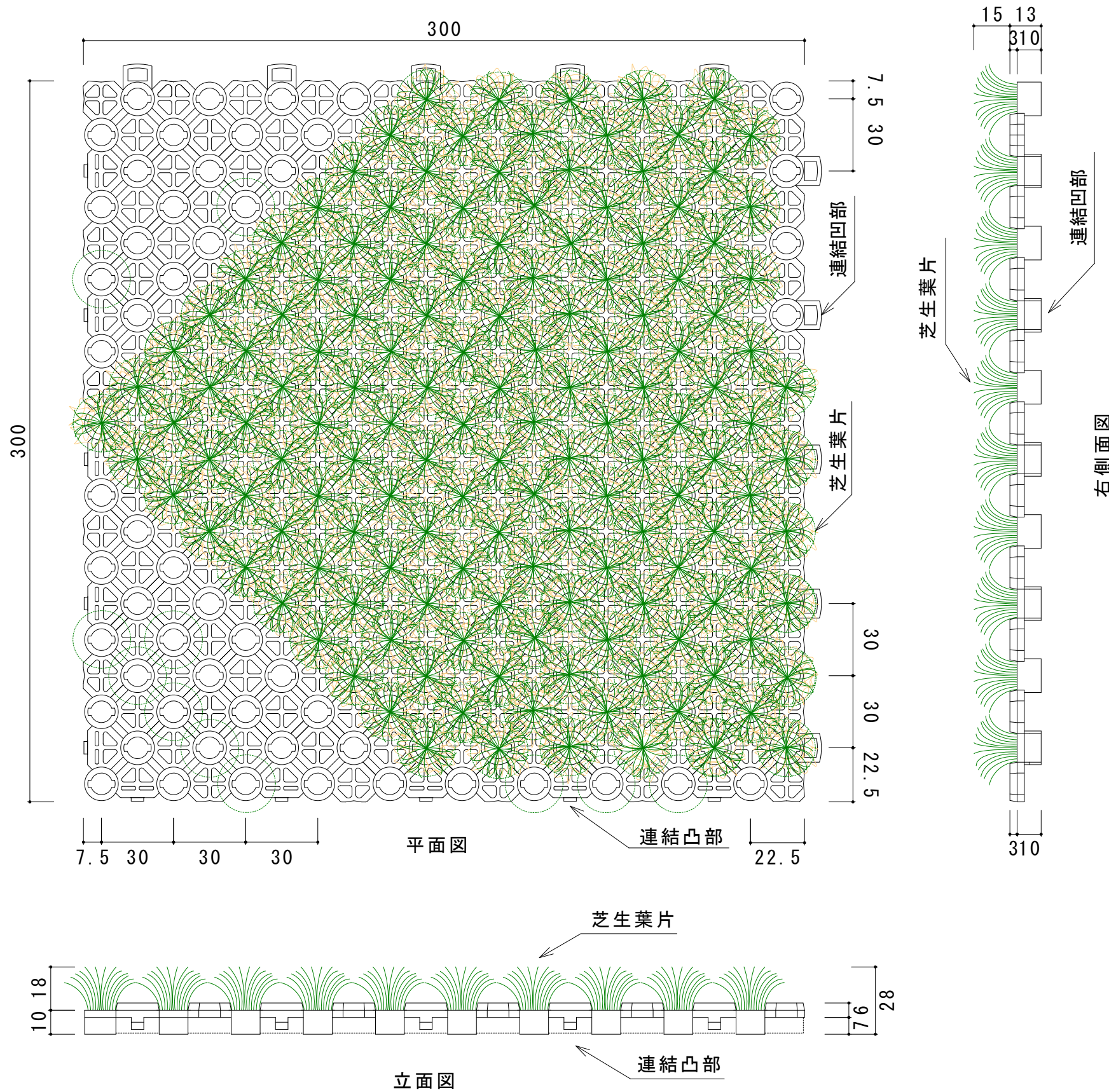
サイズ	300×300×28
基盤高	13mm
芝生長	18mm
芝束数	200束

### 《材 質》

芝生葉片	ナイロン100%（捲縮糸入り）
基 盤	ポリエチレン樹脂100%（再生材）

### 【使用上の注意】

人口芝生デビロン#221を、置き敷きにて施工する場合、樹脂の持つ特性で温度変化による伸縮が生じますので気温の低い時期に施工する場合には隙間を開け、気温が高い時期は隙間なく施工してください。製品企画に関しましては常温（20度前後）での企画寸法になります。気温変化による伸縮の影響は微量ですが、特に30度を超える気温につきましては伸びが生じます。



※製品規格に関しましては常温（20度前後）での企画寸法になります。